

■プログラム

5月9日（月）講義				
	場 所	内 容		講 師
13:00～13:30	大会議室	受 付	—	—
13:40～14:20		開 講	開講・オリエンテーション	—
14:20～14:30		休 憩	—	—
14:30～15:30		講義①	地方創生における人の創生とは	理事長 椎川 忍
15:30～15:40		休 憩	—	—
15:40～17:10		講義②	公務人材のキャリアアップをどう実現するか	箕浦 龍一 氏

※終了後に交流会を行います。

5月10日（火）講義&民間企業視察				
時 間	場 所	内 容		講 師
9:00～10:30	大会議室	講義③	現代社会の変化の潮流を考える	箕浦 龍一 氏
10:30～10:40		休 憩	—	—
10:40～12:00		ワークショップ①	参加自治体が抱える課題共有 (事前課題を使用しての発表)	—
12:00～13:30		昼 食	センター職員とのランチタイム ミーティング (昼食を用意いたします。)	—
13:30～14:00	民間企業	移 動	—	—
14:00～15:30		視察①	ビジネス新潮流を学ぶ①	サイボウズ株式会社
		移 動		
14:00～17:00		視察②	ビジネス新潮流を学ぶ②	コクヨ株式会社

5月11日（水）講義&民間企業視察				
時間	場所	内容		講師
9:00	渋谷QWS	集 合	—	—
9:00～10:30	民間企業	視察③	ビジネス新潮流を学ぶ③	渋谷QWS
10:30～11:00		移 動	—	
10:30～12:00	総務省	視察④	総務省オフィス見学会	—
12:00～14:00	大会議室	昼食・移動	—	—
14:00～15:30		講義④	これからの地域課題解決 ～官民共創という形～	箕浦 龍一 氏
15:30～16:00		休 憩	—	—
16:00～17:30		聴 講	センター人材養成塾の受講 『好きをライフワークに！』 ～磨けば光る地域の産業遺産～	地域力創造アドバイザー 花田 欣也氏

5月12日（木）講義&ワークショップ

時間	場所	内容		講師
9:00~10:30	大会議室	講義⑤	令和時代の公務員の働き方	新事業企画室長 吉弘 拓生
10:30~10:45		休憩	—	—
10:45~12:00		情報交換	<ワークショップ型研修>新時代に向けての気づきと振り返り	—
12:00~13:00		昼食	—	—
13:00~17:30		ワークショップ②	<交流研修>センター職員との合同研修(翌日に向けプレゼンの作成)	—

5月13日（金）プレゼン発表&講義

時間	場所	内容		講師
9:00~10:30	大会議室	準備作業	発表に向けた準備	—
10:30~12:00		ワークショップ③	キャリア開発塾を通じての今後の参加自治体のアプローチの可能性について発表	—
12:00~13:00		昼食	—	—
13:00~14:30		講義⑥	キャリア開発塾の振り返り	箕浦 龍一 氏
14:30~14:40		休憩	—	—
14:40~15:00		閉講	閉講式・センター挨拶	—
15:00				研修終了

地域活性化センター
周辺飲食店マップ



日本全国アンテナ
ショップマップ



講師紹介



箕浦 龍一 講師

一般社団法人 官民共創未来コンソーシアム理事
公務部門ワークスタイル改革研究会 研究主幹
一般社団法人 日本スポーツ・ヘルスケア・デザイン
推進機構理事
一般社団法人 日本ワーケーション協会特別顧問
元国家公務員（総務省）

平成3年4月 国家公務員任官（総理府・総務庁採用）

沖縄開発庁、総理府広報室、福井県警察本部、総務庁人事局、総務省人事・恩給局、内閣官房行政改革推進本部事務局、総務大臣秘書官等を経て、2015年7月、総務省行政管理局企画調整課長、2018年7月行政評価局総務課長。2021年7月、総務省大臣官房サイバーセキュリティ情報化審議官（内閣官房政府副CIO兼務）を最後に退職。

総務省時代には、オフィス改革を中心とする働き方改革に取り組み、その実績により人事院総裁賞を受賞（両陛下に拝謁）。2017年の日本行政学会では、「機動力の高いナポレオン型管理職」として紹介される。2018年には、中央省庁初となる中央省庁と基礎自治体との短期交換留学も実現するなど公務部門の若手人材育成にも取り組んで話題となった。

2020年11月、一般財団法人行政管理研究センターの協力を得て、「公務部門ワークスタイル研究会」を立ち上げ、その研究主幹に就任。

「軽井沢リゾート・テレワーク協会」や「金沢イノベーション・ハブ研究会」、食を通じて健康と医療を考える「フードメディシンネットワーク」など、様々なプロジェクト・コミュニティにも参画している。



吉弘 拓生

地域活性化センター新事業企画室長
内閣官房地域活性化伝道師
総務省地域力創造アドバイザー
内閣府企業版ふるさと納税マッチングアドバイザー

1981年福岡県久留米市出身。

2000年、大学在学中にラジオDJデビュー。音楽・情報番組などでパーソナリティを務める。卒業後、浮羽森林組合に入庁。森の癒し効果に着目した「森林セラピー」を提唱し、市の主要産業化に携わる。

2010年4月うきは市役所入庁。地域資源を活かした交流連携のまちづくり推進に従事。フルーツ王国ブランド化、スイーツのまちづくりなどを企画実行した。

JR九州「ななつ星in九州」の歓迎行事では、沿線の住民とタッグを組み、笑顔で手を振る運動を企画。その取り組みが注目を浴び、ななつ星in九州搭載に成功。

2015年4月、群馬県下仁田町副町長就任。

地方創生をはじめとする各種事業に取り組み、企業版ふるさと納税制度を活用した「ねぎとこんにやく下仁田奨学金」プログラムは令和元年度地方創生担当大臣賞を受賞。2019年4月から一般財団法人地域活性化センタークリエイティブ事業室長として移籍。令和時代の地域づくりに関する講演の他、全国各地の公務員の人材育成にも取り組む。

視察先紹介

■サイボウズ株式会社 (<https://cybozu.co.jp/>)

900万人を超えるユーザーにWebサービスを提供し、「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2020-2021」クラウド基盤サービス (IaaS/PaaS) 部門で2年連続1位を獲得しました。「チームワークあふれる社会を創る」という理念のもと、情報共有を活性化する「グループウェア」の開発、販売、運用とチームワークを高めるためのメソッド事業を展開しています。

また、サイボウズ自身がチームワークあふれるために“働き方宣言制度”の導入や副(複)業解禁など社員の自立を促す人事制度を取り入れています。

■コクヨ株式会社 (<https://www.kokuyo.co.jp/>)

コクヨ株式会社では、商品、サービスを通じて、顧客の創造性を向上する価値を提供することにより、人々のより良い「はたらく」「まなぶ」「生活する」シーンでのQuality of Lifeの向上を実現し、社会の役に立つ Life & Work Style Company を目指しています。「キャンパスノート」に代表されるステーションナリー事業、オフィス家具から空間デザインまでを手掛けるファニチャー事業、オフィス通販を手がける通販小売関連事業の三つの事業で成り立っており、「商品やサービスを通じて、お客様(個人・企業)の成長を後押しし、多くのお客様の成長を通じて社会を豊かにすることを大切にしています。

■SHIBUYA QWS (<https://shibuya-qws.com/>)

SHIBUYA QWSは、年齢や専門領域を問わず、渋谷に集い活動するグループのための拠点です。コミュニティコンセプトを「Scramble Society」とし、グループ間の交流や領域横断の取り組みから化学変化が生まれ、未来に向けた価値創造活動を加速させます。

15階のフロア全体を占める約2,600㎡の空間は、スクランブル交差点を眼下にのぞみ、200名規模のイベントが開催できる「SCRAMBLE HALL」、さまざまな活動が行われ、人々が行き交う空間「CROSS PARK」、交流や対話を促進する上質空間「SALON」、新しい価値創造に取り組む場「PROJECT BASE」、などの多様な要素で構成され、共創と支援を促進します。